



広橋の馬頭観音(蜂屋町)

馬頭観音は頂上に馬頭をいだき、怒りの表情をしていることをその特徴とし、道筋によく見られることから、交通と関係の深い観音とされ、行き交う人々の安全を見守ってきました。

このたび完成した宝泉坊トンネルの真上にある馬頭観音も「広橋組中 文政八年(1825)西十二月吉日」と刻まれ、道中の安全を願う地域の方々によって建てられたものです。

この観音の前と後ろにはかつての山の道の跡が残っており、当時の様子をうかがい知ることができます。